

OSH レベル評価サービス

(愛称：J-First)

手引き



目次

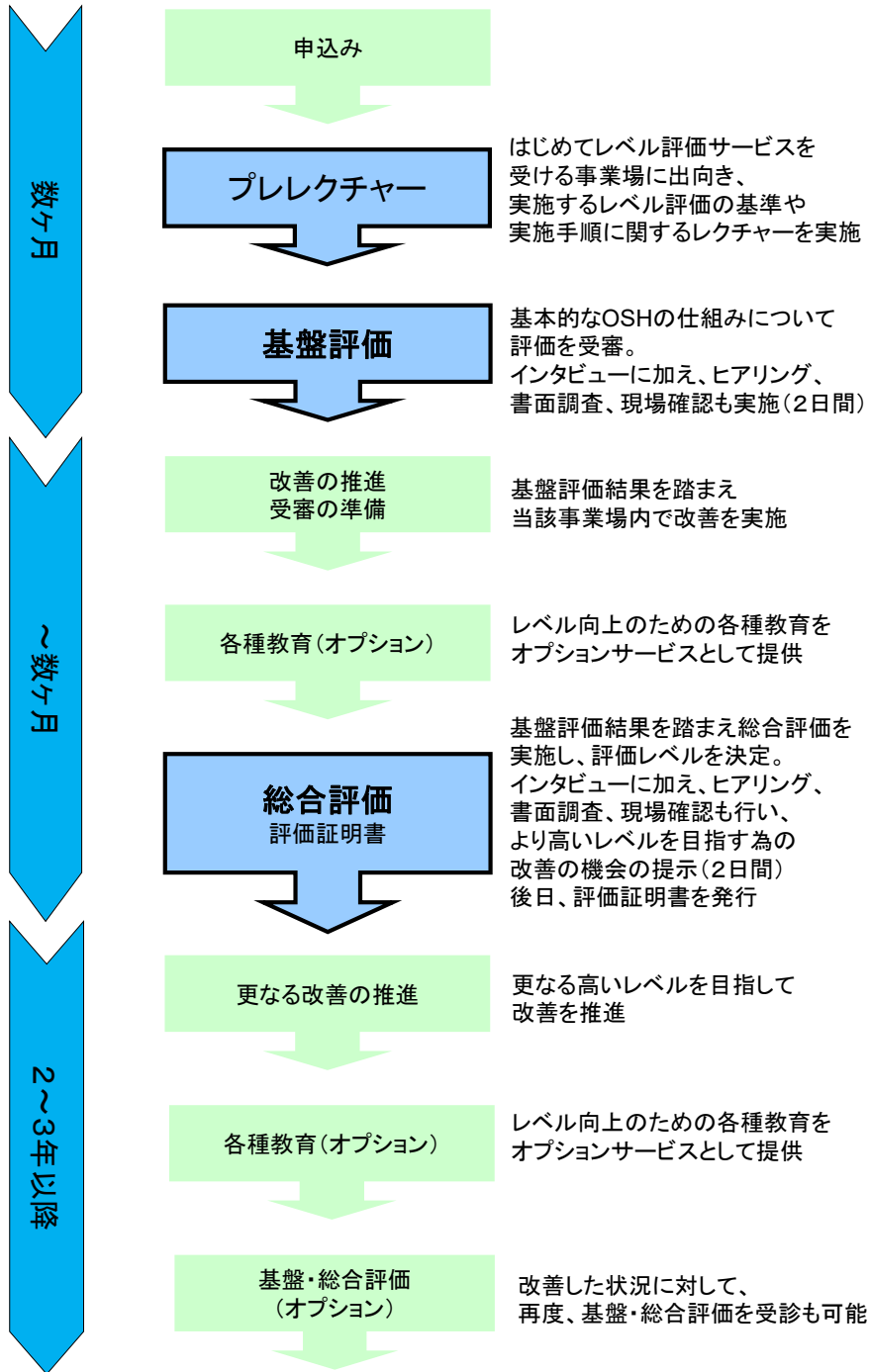
1. はじめに.....	5
1.1. OSH レベル評価サービスとは.....	5
1.2. OSH レベル評価基準.....	5
1.3. 対象.....	5
1.4. メリット.....	5
1.5. レベル評価の方法.....	6
1.6. OSH レベル評価基準の構成.....	6
2. 流れ.....	7
2.1. 全体像.....	7

期間の目安

お客様の取組例

基本的に基盤評価と総合評価は、
2回に分けて実施しますが、
希望に応じて1回にまとめて
実施も可能です。

※太枠は標準項目(有料)



2. 2. 詳細な流れ.....7

3. 基盤評価および総合評価における共通事項..... 12

3. 1. 必要な日数とパターンの種類..... 12

3. 2. 第一人者の選定..... 12

3. 3. 場所の確保..... 12

4. 料金..... 13

4. 1. 共通事項..... 13

4. 2. 基本..... 13

4.3. オプション.....	13
4.4. キャンセル.....	13

<問合せ窓口・申込み窓口>

中央労働災害防止協会 安全衛生マネジメントシステム審査センター

〒108-0023 東京都港区芝浦 3-17-12 吾妻ビル 9階

TEL. 03-3452-6694 FAX. 03-3452-1275

E-mail : jisha-ms@jisha.or.jp

営業時間 : 月曜日～金曜日 9:00～17:00 (除く、祝祭日)

DNV GL ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

〒651-0087 兵庫県神戸市中央区御幸通 4-2-20

三宮中央ビル 9F

TEL. 078-291-1321 FAX. 078-291-1329

E-mail : japan.info@dnvgl.com

営業時間 : 月曜日～金曜日 9:00～17:00 (除く、祝祭日)

ver. 201910

1.はじめに

1.1.OSH レベル評価サービスとは

OSH レベル評価サービスは、OSH レベル評価基準に基づくレベル評価制度であり、事業場の OSH 管理水準を評価・改善・実証する日本独自のシステムです。本サービスを利用することで、お客様は、自らの OSH 管理が適切で持続可能であることを内外を問わずアピールすることができます。

1.2.OSH レベル評価基準

OSH レベル評価基準は、中央労働災害防止協会（略称：中災防）及び DNV GL ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社（略称：DNV GL）が労働安全衛生管理の分野で長年に渡って蓄積してきた効果ある管理策を次の方針で整理・体系化したものです。

- ・ハイリスク産業向けとそれ以外の産業向けで分類する
- ・それぞれの小項目の難易度でランク分け
- ・国内にてより深化するための管理策を追加する

1.3.対象

対象は、全ての製造業・事業場です。

1.4.メリット

OSH レベル評価サービスでは、お客様に次のものを提供します。

- 🚩 労働安全衛生レベルの定量的な評価
- 🚩 労働安全衛生管理・活動の有効性を高めるための改善の機会の提供
- 🚩 OSH レベルを更に向上させるための教育等（オプション）

一方、お客様にとっては OSH レベル評価サービスを受けることで次のメリットを得ることができます。

項目	内容
直接的な効果	トラブルやプロセス停止による費用の低減
効率的にキャッチアップ	ベストプラクティスを用いた現場活動の最適化
考える安全の構築	ベンチマークによるパフォーマンスの比較
方向性の確認	現状の強み・弱みの明確化
トップダウンとボトムアップの適正化	事業場トップや各職制のリーダーシップの発揮、従業員のスキル向上と職場での行動文化の醸成
人づくり・職場づくり	従業員や職場、事業場全体の改善を検討するための材料（情報）の入手
職場風土の改善	職場ルールの確実な遵守の確立
構内一体運用の強化	関係請負人を含めた構内一体運用の強化
社会的な評価	社内及び社外の関係者への安心・信頼の提供

1.5. レベル評価の方法

レベル評価とは、事業場の OSH 管理を、OSH レベル評価基準に定めるベストプラクティスに照らして、評価することです。

本評価は、基盤評価及び総合評価という 2 種類があり、基盤評価の実施後に総合評価を実施します。期間は、お客様の事業場の規模にもよりますが、原則、基盤評価 2 日間、総合評価 2 日間の計 4 日間を必要とします。また、レベル評価を行う者（評価員）は、OSH レベル評価基準について十分な知識と能力を持つ人員です。

レベル評価には、事業場の担当者とのインタビューが含まれています。評価員からのインタビューにて、質問に回答してもらい、それを採点します。合わせて文書・記録を検証し、また現場の状況についても評価を行います。

総合評価の結果を 1～10 までの 10 段階のレベル（基盤評価の段階では、4 段階）で報告します。報告書では、ベストプラクティスとの差分を示し、これが、お客様の将来の改善を計画する検討材料となります。

1.6. OSH レベル評価基準の構成

OSH レベル評価基準の全体の構成は、次の 6 つの領域に分かれています。

領域	大項目
I. 基盤と効果	1 労働安全衛生法等の遵守
	2 体制の確立
	3 労働者の参画
	4 明文化、記録
	5 地域とのつながり
	6 評価と効果
II. 安全衛生管理の 方向性	7 安全衛生方針の表明
	8 安全衛生目標・計画の作成
	9 安全衛生計画の実施等
III. 自律人間、考える 職場	10 安全衛生諸活動
	11 作業手順書
IV. トータルヘルスの充実	12 安全衛生教育
	13 健康づくり等
V. リスクマネジメ ント	14 リスクの管理
	15 労働災害発生原因の調査等
	16 緊急事態への対応等
VI. 構内一体運用の 強化	17 構内物流・交通安全
	18 関係請負人（保全）

2.流れ

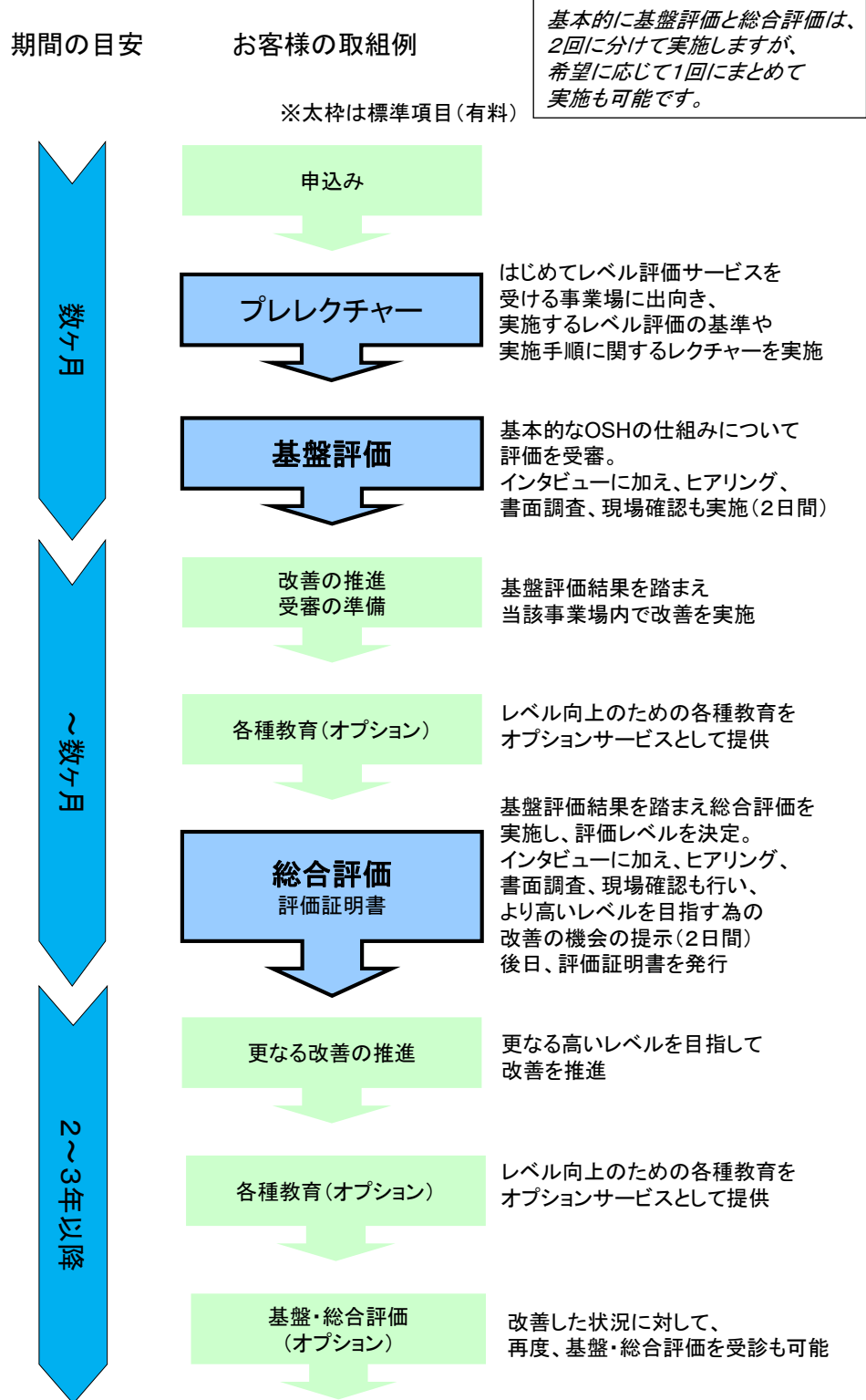
2.1.全体像

全体像につきましては、次の図のとおりです。

詳細につきましては、次ページから説明しています。

※上図は、基本的な流れ（例）を示したものです。

オプションの有無などにより、流れは変わります。



基本的に基盤評価と総合評価は、2回に分けて実施しますが、希望に応じて1回にまとめて実施も可能です。

※太枠は標準項目(有料)

2.2. 詳細な流れ

↓ 検討段階

中災防又は DNV のいずれかにお電話ください。

↓ 申込み希望

お申込み希望は、「OSH レベル評価サービス仮申込書」（末頁）を「目次」にある申込み窓口の一方にご郵送ください。

遅くとも、プレクチャー希望日の 1ヶ月前までの提出をお願いします。営業担当が見積書を作成します。

↓ 契約の締結

見積書に基づき、契約を締結します。

↓ プレクチャー

基盤評価の 1～2ヶ月前を目処に開催します。講師は、原則その後の評価におけるリーダー評価員が担当します。

(事前説明会、事前訪問)

<プレクチャーの主な内容>

- ・ 評価制度概要 30min
 - ・ 評価基準概要（準備資料の説明含む） 60min
 - ・ 評価手順概要 30min
 - ・ プログラム概要及び調整 20min（出席者、時間の調整など）
※標準スケジュール参照
 - ・ 事前準備資料の確認 20min
 - ・ Q&A 20min
- 計 3 時間

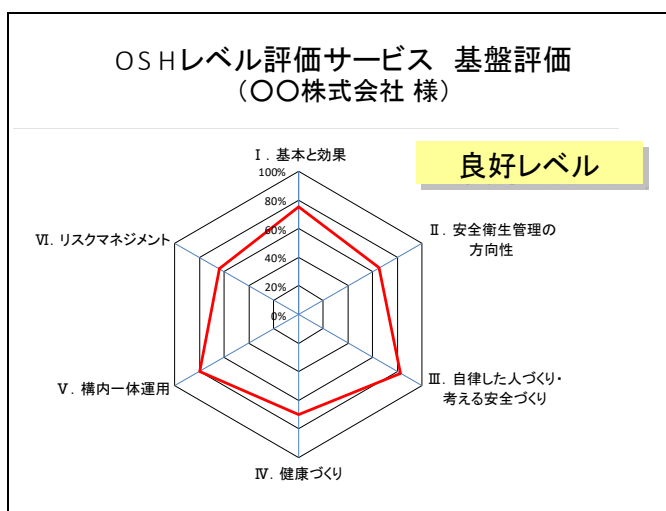
↓ 基盤評価

基本的な OSH の仕組みについて評価します。OSH の全ての領域について広く見ることが目的です。インタビューに加え現場確認も実施します。

この評価の基本所要時間は、評価員 4 名で 2 日間となりますが、事業場の規模・状況に応じて最大 1 日程度増える場合があります。

- ・ タイムスケジュールに従い進めます。※標準スケジュール参照

基盤評価を通じて、事業場のレベルを「初期」、「標準」、「良好」、「優秀」のいずれかの評価を受けることができます。



※基盤評価 標準スケジュール (例)

基盤評価

平成〇〇年〇〇月〇〇日

OSHレベル評価サービス 基盤評価 タイムスケジュール

時間	内容		出席者			備考
	A班	B班	対象職場	職名	氏名	
1日目:〇〇月〇〇日(〇)						
9:00 ~9:40 (40)	オープニング ・挨拶 ・事業場概要説明 ・評価事業の説明 ・評価点の考え方、評価の方法		事業所全体			
9:40 ~12:00(140)	安全衛生スタッフ等への調査 I-1 労働安全衛生法の遵守 I-2 体制の確立 I-3 労働者の参画 I-4 明文化、記録 II-7 安全衛生方針の表明 II-8 安全衛生目標・計画の作成 II-9 安全衛生計画の実施等 III-12 安全衛生教育	安全衛生スタッフ等への調査 III-11 作業手順書 IV-13 健康づくり等 VI-17 構内物流・交通安全	A班担当 安全衛生課			
			B班担当 安全衛生課 総務課			
12:00 ~13:00 (60)	昼食					
13:00 ~13:10 (10)	評価側情報まとめ (認識統一)		評価側			
13:10 ~14:50(100)	安全衛生スタッフ等への調査(続き)	安全衛生スタッフ等への調査(続き)	A班担当 安全衛生課			
			B班担当 安全衛生課、総務			
14:50 ~15:05(15)	休憩(移動)					
15:05 ~17:00 (115)	職場の調査 I-3 労働者の参画 I-4 明文化、記録 II-7 安全衛生方針の表明 II-8 安全衛生目標・計画の作成 II-9 安全衛生計画の実施等 III-12 安全衛生教育	職場の調査 III-11 作業手順書 VI-17 構内物流・交通安全	A班担当 〇〇製造課			
			B班担当 △△製造課			
2日目:〇〇月〇〇日(〇)						
9:00 ~12:00(180)	安全衛生スタッフ等への調査 I-6 評価と効果 III-10 安全衛生諸活動 V-15 労働災害発生原因の調査等	安全衛生スタッフ等への調査 V-14 リスクの管理 V-16 緊急事態への対応等 VI-18 関係請負人(保全)	A班担当 安全衛生課			
			B班担当 安全衛生課 保安、保全担当課			
12:00 ~12:50 (50)	昼食					
12:50 ~13:00 (10)	評価側情報まとめ (認識統一)		評価側			
13:00 ~15:00 (120)	職場の調査(事務所へ移動) III-10 安全衛生諸活動 V-15 労働災害発生原因の調査等 (※30分程度の現場視察を含む)	職場の調査(事務所へ移動) V-14 リスクの管理 V-16 緊急事態への対応等 (※30分程度の現場視察を含む)	A班担当 〇〇製造課			
			B班担当 △△製造課			
15:00 ~15:40 (40)	聞き漏らし事項の確認		安全衛生課、総務課、 〇〇製造課、 △△製造課			
15:40 ~16:30 (50)	評価側情報まとめ (認識統一)		評価側			
16:30 ~17:00 (30)	クロージング		事業所全体			
(事業所のチャンピオン)						
関係部署	安全衛生部門 : 安全衛生全般					
	製造課・保全課 : 部署計画・諸活動、関係請負人等					
	品質・環境・保安 : 環境測定・緊急対応等					
	総務 : 教育計画・健康診断・地域とのつながり・他					
A班	中災防から1名 DNVから1名					
B班	中災防から1名 DNVから1名					

※大項目の後のカッコ内は質問の合計数
 ※丸数字の後の数字は各時間枠ごとの質問の合計数
 ※丸数字は質問の想定対象者
 ①安全衛生部門、総務、②職場(ライン)
 ③保全・保安担当(①以外のスタッフ)

↓ 各種教育
(オプション)

↓ 総合評価

基盤評価を受けて、さらに深めたい領域について支援します。

<例>

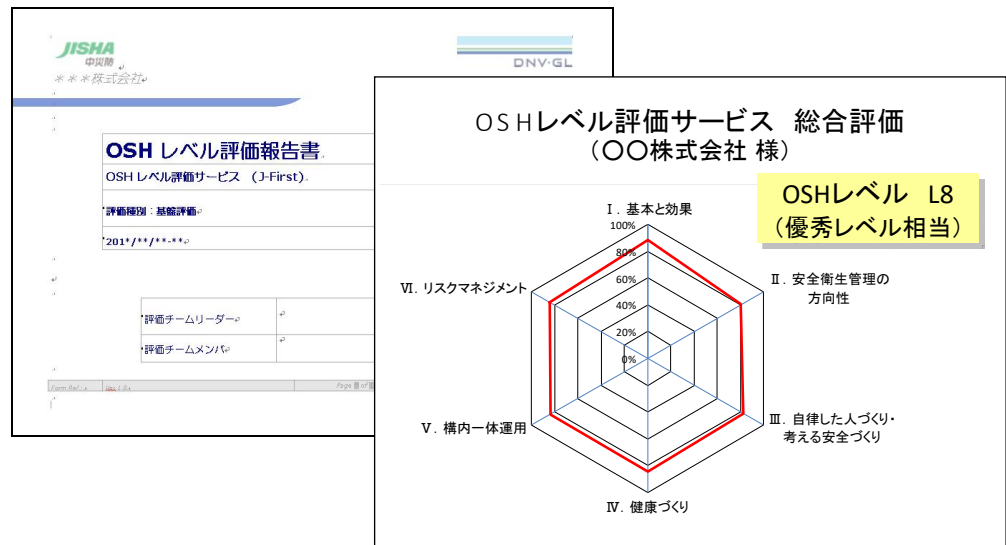
- ・教育訓練
- ・講演

基盤評価結果を踏まえ実施する評価です。OSHの全ての領域について広く深く見るのが目的です。総合評価の結果は、レベル1～10のいずれかで示します。インタビューに加え現場確認も行い、より高いレベルを目指す為に有益な気づきを指摘します。

総合評価では、原則として、基盤評価での評価項目を再評価することはありません。基盤評価後の改善を総合評価に反映させたい場合、オプションでのお申込みとなります。基盤評価の結果（再評価項目の量）に応じて1～2日間要します。

この評価の基本所要時間について、審査員4名で2日間となりますが、事業場の規模・状況に応じて最大1日程度増える場合があります。

総合評価においては、最後に、次の資料にて報告を行います。



なお、基盤、総合の再評価の結果で示す「ベストプラクティスとの差異」は、主なもののみとしています。評価後に細部にわたって改善を進められる場合、オプションの申込みをお勧めします。

↓ 評価証明書発行

評価の結果に基づく「レベル評価証明書」を発行します。お客様が自らの OSH パフォーマンスを他者に示したい場合には、この証明書を使うことができます。

<デザイン変更あり>

	
OSH レベル評価証明書	
登録番号：****	
○△□株式会社◇◇◇事業所	
For Achievement to :	
Level ** ★★★	
評価基準 :	
OSH レベル評価基準 201x 年版に基づく総合評価	
評価実施日： 201x 年 月 日	登録書有効期限： 201x 年 月 日
評価機関： 中央労働安全衛生協会	評価機関： DNV GL ビジネス・アシユアランス・ジャパン株式会社
○○ ○○ マネジメントシステム審査センター所長	○○ ○○ ビジネス開発部 部長

レベル評価証明書は、評価実施日時点での事業場の OSH レベルを示すものであり、発行日から3年間有効です。但し、3年間に事業場の変更等の大規模な変化が発生した場合、当該証明書は効力を失います。

3. 基盤評価および総合評価における共通事項

3.1. 必要な日数とパターンの種類

必要な日数についての一般的なパターンを次のとおり列挙します。ただし、基盤評価の状況により変化します。

流れ	プレレクチャー	基盤評価		総合評価
パターン1 基本形	0.5 日間	2 日間		2 日間
パターン2	0.5 日間	2 日間	オプション	3 日間
			1~2 日間	
パターン3	0.5 日間	4 日間		

3.1.1. パターン1 基本形

通常の基本のパターンです。最初に基盤評価を受け「良好」以上の評価を受けた後、一定期間後に総合評価を受けるケースです。

3.1.2. パターン2

最初に基盤評価を受け、その結果が望むものとは違い、再度、基盤評価の内容についてのフォローアップ（オプション）を希望し、さらにそのフォローアップ状況も含め総合評価を受けるケースです。

※ただし、実際の工数設定は検討の上決定します。

3.1.3. パターン3

基盤評価と総合評価をまとめて1度に受けるケースです。

3.2. 第一人者の選定

インタビューの出席者については、お客様の中での第一人者の出席をお願いします。

第一人者とは、事業場のトップの方ではなく、その分野で一番詳しい人を想定しています。よって、第一人者は、分野ごとに異なる方も結構です。また、事業場トップの方に対しても、インタビューを行いますので、面会時間（30分程度）の確保をお願いします。

3.3. 場所の確保

基盤・総合評価では、4名の評価員がA、B班に分かれて、それぞれで進めます。部屋は、原則、1部屋とし、A、B班とも同じ部屋で実施します。ただし、音声が混じることによる混乱を避けるため、パーティションでの区分や、一定の距離の確保などに努めてください。1部屋の用意が難しく別々の部屋となる場合、できるだけ近くの部屋としてください。

一方、各評価内での職場の調査では、A、B班が離れた部屋でも問題がありませんので、現場での部屋の確保をお願いします。

オープニングとクロージングは、A、B班合同で行いますので、収容できる部屋の確保をお願いします。

4.料金

4.1.共通事項

OSH レベル評価サービスに係る料金は、表のとおりです。

料金については、すべてに 10% 消費税含まれます。また、交通費および宿泊費は、別途です。

4.2.基本

内容	金額
プレレクチャー	374,000円
基盤評価 (2日間)	1,100,000円
総合評価 (2日間)	1,100,000円
合計	2,574,000円

4.3.オプション

内容	金額
基盤評価後のフォローアップ、 総合評価時の基盤評価の再評価、 その他各種教育など (1日当たり)	550,000円

4.4.キャンセル

キャンセル（延期の場合も含む。天災等によるキャンセル、延期は除く）は、可能ですが、プレレクチャー、基盤評価又は総合評価の実施初日の直前のキャンセルの場合、キャンセル料を請求します。キャンセルポリシーは、次のとおりです。

プレレクチャー、基盤評価又は総合評価 の各実施初日からのキャンセル料の発生日	契約額
1ヶ月より前	無料
1ヶ月前から	10%
14日前から	30%
7日前から	75%
当日	100%

※キャンセル料には、評価員の宿泊費、交通費を含みます。

OSH レベル評価サービス 仮申込書

OSH レベル評価サービスについて、次のとおり申込みを希望いたします。

お申込み日:	平成 年 月 日		
事業場名:			
所在地:	〒		
最寄駅・バス停:			
労働者数:	人		
業種:			
事業の内容:			
中災防会員番号:			
連絡担当者:	担当部署:		
	TEL:		
	FAX:		
	Email:		
実施希望時期:	プレレクチャー:	平成 年 月頃	
	基盤評価:	平成 年 月頃	
	総合評価:	平成 年 月頃	

※正式な申込みについては、契約書の締結により行います。

<個人情報について>

ご記入いただいた個人情報につきましては、当協会が責任をもって管理し、申込みいただいたサービスの的確な提供のために使用するほか、当協会が行う各種セミナー、出版する図書、コンクールへの応募勧奨、アンケートのご案内、その他公益的な観点からの情報の提供等に利用することがあります。個人情報の二次利用に同意されない場合は、右の□にチェックマーク（レ）をご記入ください。

同意しない